

令和6年1月記者会見市長コメント

平素は、報道関係の皆様には適切かつ迅速な報道を通して、市民の皆様への情報の周知に努めていただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

本日の案件につきましては、「田辺市新庁舎の開庁日について」であります。

なお、先ほど会見前に上映させていただきましたのは、12月26日にドローンで上空から撮影したものをもとに生成した3次元モデル、いわゆるデジタルツインとなります。「デジタルツイン」とは、「現実（リアル）」と「デジタル（仮想空間）」を「双子（ツイン）」として再現する技術・概念のことです。本市が進めているデジタルツインプロジェクトの一つであります。

令和3年度に着工した田辺市新庁舎新築工事は、現在順調に進んでおり、3月末には、いよいよ完成予定です。

4月から移転作業を本格的に進めます。

新庁舎の開庁日は、ゴールデンウィーク明けの5月7日（火）とさせていただきます。

時間は8時30分から業務を開始させていただきます。

新庁舎の竣工日からすれば、かなり短い期間で付帯工事や什器等の調達を行うこととなり、タイトなスケジュールではありますが、できるだけ早い供用開始をするため、ゴールデンウィークに移転することが望ましいとの判断に至りました。

それに伴い、現本庁舎等での業務最終日は5月2日（木）となります。この日は木曜日ですから、市民部の延長窓口を実施する日ではありますが、5時15分で業務を終えることといたします。

なお、市民総合センターの貸館などについては、ゴールデンウィークの期間の利用を制限させていただくこととなります。

開庁日は業務開始日となるため、竣工と開庁を記念した式典を4月29日（月・祝）に行いたいと考えております。

式典の内容等については、今後調整となりますので、後日お知らせいたします。

続いて、新庁舎移転の概要をお伝えします。

新庁舎へは、本庁舎、市民総合センター、水道事業所の3か所から約600人が移転するため大規模な移転となります。

移転に伴い、3か所に分散していた市民窓口が一つになりますので、市民の利便性の向上につながるものと期待しております。

また、新庁舎は、「“命をつなぐ”災害に強い庁舎」として、防災の拠点となるため、建物に伝わる地震の揺れを軽減する免震構造を採用しています。災害時には、5階には意思決定を行う災害対策本部が入り、1階が一時避難フロアになるなど、災害時に必要となる機能をフロアごとに分けており、災害後速やかに機能転換することが可能です。一時避難フロアには、約2,300人を受け入れることが可能です。

また、平常時は「“人をつなぎ”交流を生むみんなの庁舎」として、人の交流を生むまちづくりの核を担う庁舎であると考えております。各階に市民の皆様が打ち合わせ、休憩、読書等に使っていただくコミュニティスペースを設けるほか、3階にはカフェ・売店を設置し、6階にはまちが見渡せる市民展望テラスを設けるなど、気軽に立ち寄れるスペースがありますので、多くの市民の皆様にご利用いただきたいと思っております。

そして、庁舎にはところどころに紀州材を使用しており、5つのルーバーには合併前の旧5市町村の刻印をし、それぞれの地域から伐採された木を使っております。

私からの説明は以上となりますが、命をつなぎ、人をつなぎ、明日へつなぐ、市民の皆さんに長く愛される庁舎となることを願っております。

よろしく願いいたします。